

事業所職員からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年3月10日

事業所名 富山市恵光学園(児童発達支援センター)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	3	・狭いとは思いますが、環境設定を行い危険のないように工夫している。	・保育室やプレイルーム、プールなどを使用する時は活動内容やその時間帯に必要なもの、園児数等を考慮しながら環境の工夫をしていきたい。 ・コロナ禍であるため、感染対策をしていきたい。 ・指導室が少なく相談室がない。
	② 職員の配置数は適切であるか	11	3	・その都度、必要に応じてパート保育士、パート児童指導員も入っている。	・園内での職員配置は国の最低基準は4対1であるが、今年度は3対1～2.5対1で職員が対応を行っている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	・活動内容等によって部屋の環境設定を工夫している。バリアフリーの面では、玄関等にはスロープ等がついている。その他の設備面では、建物上難しい面もある。可能な限り対応するには心掛けている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	14	0	・昼食後と降園後の2回、クラス内を掃除している。また、プレイルームについても降園後に遊具消毒を行っている。	・収納場所がないことで、物が乱雑にならないように気を付けている。 また、職員各自が汚れている箇所を見つけたら、そのままにせず自ら率先して掃除をするように心掛けている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	14	0		・PDCAサイクルを取り入れて業務改善を進めており、毎月のクラス会議等で話し合いを行っている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	14	0		・保護者の評価表には目を通し、意向があった場合は職員間で報告、相談、連絡を行っている。改善が必要な場合はすぐに話し合いをし、業務改善に努めていきたい。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・コロナの流行の為、オンラインでの参加を行っている。 ・学習会や研修など月に1回程度行っている。	・コロナにより、定期的に設けていた学習会が行えなかったりした。来年度は、業務整理を行い、職員の研修時間を設けられるように業務整理を行った。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	0		・一人の主観のみで計画を作成せず、クラスの職員間で話し合い子どもの像を捉えて今後も作成していく。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	0	・ポーター指導を行っている。 ・津守・稲毛式発達検査を使用している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0		・それぞれに必要な支援内容に設定するようにしている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	2	・クラス職員で支援計画を立てるにあたって話し合いを行っている。 ・支援計画に沿った支援を行えるように努めているが、できていない部分もある。援助の方法や技術の向上のため、もっと学ぶ必要がある。	・日々の療育で細まめに支援計画を見直し、また、クラス間で共通理解しながら療育にあたるようにする。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	・月末にクラス職員で話し合っ立案している。	・クラス会議の中で活動内容や1人ひとりへの適切な支援を考えられるように時間を設けている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	1	・工夫はしているが、天候の関係で固定になることもある。集団活動も毎週取り入れている。	・季節に応じた活動や行事を取り入れ、クラスや学園全体で行うようにする。繰り返し行う活動であっても活動のねらいや教材を工夫して提供していきたい。
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	0		・日々の集団活動の様子に加えて、ポーターの個別指導の課題も記載している。	

	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0		・早番、遅番、バス当番等があり、クラス職員全員が揃っての打ち合わせは難しい。しかし、前日準備を行ったり、事前にクラス活動の内容を検討し、役割分担を確認している。
	⑱ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	1	・日々の振り返りは必ず行っており、次の支援に生かせるよう、職員間で話し合っている。 ・バスなど当番が入っていると難しい時もあるが、できる限り振り返るように気を付けている。 ・気づいたことがあれば、その場で伝えることもある。	・子どもの様子や保護者対応等は細かく記録に残し、職員間で共有している。 ・PT、ST、OT等の訓練士がクラスに入った時には療育後にカンファレンスを行い、より良い支援について考えている。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	1	・クラス毎に支援の検証を行っているが、それを記録として残していないこともあり、今後しっかり残して支援の改善に繋げていきたい。	・生活記録や保健記録等、日々の記録はとっている。また、些細な事であっても職員間で共通理解するようにしている。
	⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	1		・年2回保護者への聞き取りを行い、支援ニーズや目標の見直しを行っている。今後も継続して続けていきたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	0	・担任職員と児童発達支援管理責任者と相談担当職員が参加し行っている。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13	1		・必要に応じて、各関係機関と連携を行っている。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	14	0		・必要に応じて連絡を取り合い情報交換やケース会議を行っている。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	0	・実際に連絡をとることはないが、連絡体制は整っている。	・主治医や協力医療機関からのサマリーや意見書等を職員間で共通理解するようにしている。定期的に連携をしていきたい。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか	14	0	・必要なお子さんに関しては移行支援会議の場を設けている。	・就園児や年長児に関しては、保育所・幼稚園・学校と連携をとり、移行支援会議を行っている。
	㉖ 移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	・必要なお子さんに関しては移行支援会議の場を設けている。	・上記と同様
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	0		・コロナ禍の為オンライン研修で行った。開催の仕方を工夫しながら研修をしていきたい。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	・コロナの為行っていない。 ・以前は行っていたが、今はコロナのため行っていない。	・コロナ禍であるため中止となった。感染状況や様子を見てできる範囲で行ってきたい。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	3		・子ども部会は、学園の相談支援専門員たちで運営している。資料を回覧したり、報告を受けることで情報を把握している。
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	・共通理解を図るように行っているが、保護者によっては納得されていないかもしれない。 ・毎日の連絡帳やポータルで共通理解を図っている。	・連絡帳や送迎の際、ポータル指導で子どもの様子を伝え合っている。また、いつでも相談を受け入れる体制を整えている。
㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか	14	0	・ペアレント・トレーニングではないが、ポータル指導の中で家族支援を行っている。	・今年度はペアレント・トレーニングは行っていない。 ・ポータル指導の中で家庭での困り感を聞いたり、家庭での支援を保護者と共に考えるようにしている。	
㉒ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	0	・新入園児オリエンテーションの契約時に説明を行っている。	・契約時に説明を行っている。その都度、保護者から質問があった際には対応している。	
㉓ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	・保護者には児童発達支援ガイドラインの説明はオリエンテーション時に行っている。個別支援計画については丁寧な説明を心掛け、ニーズに応じた支援計画を立てるようにしている。		

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	14	0	・保護者から悩みや相談は必ずクラス職員で共有し、児発管よりアドバイスをもらうなどしている。	・月1回のポーター指導で保護者より子育てや悩み等の話を聞いている。相談内容に応じてクラス内で共有したり、ケース検討会議を行い、より良い支援について考えていきたい。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	0	・「光の会」という保護者会にて行っている。	・コロナ禍で、今後どのような保護者支援やサポートができるか検討していきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0		・クラス内、事業所内、施設内で報告・連絡・相談を心掛けて対応していきたい。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	・毎月の学園だより、ホームページ、必要に応じてメールやお知らせの配信を行っている。	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	14	0	・個人情報は鍵の付いている机の中やロッカーに入れている。	・個人情報の物に関しては、施錠された場所に保管するようになっている。個人情報が記載されている回覧物もあり、事前に声を掛けたり、注意喚起を記載して回覧している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	3		・コロナ禍の為、制限を行っている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	0	・定期的に各訓練を行っている。 ・研修も講師を呼んで行っている。	・定期的にマニュアルの見直しを行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	・毎月訓練を行っている。	・各種災害の訓練を行っているが、様々な状況を想定し、今後も必要な訓練があれば行っていきたい。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	14	0	・各クラスに掲示し、いつでも確認できるようにしている。	・全員に周知しているが、他クラスの園児となると状況を把握しきれないことがあるので、職員同士の情報共有の意識を日頃から身に付けていきたい。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	・保護者の意見に合わせて主治医に相談してもらい、個々に合った対応をしている。	・クラス内でおやつや給食の配膳には気を付けている。パート職員や臨時で入った職員への申し送りを徹底していくようにしている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	・朝礼にて全体に伝えた上で、回覧を回している。	・ヒヤリハットがあった場合は全体への報告を行い、再発防止に努めている。日頃から子どもの行動に注意し、環境設定にも気を付けていきたい。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0		・コロナ禍により、急な予定変更等もあり、学習会や研修機会の確保が難しいが、業務改善を行い確保するように検討している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	14	0		・身体拘束の同意書に記載のない項目に対しては保護者に直接確認している。また、記録している。今後もケースに応じて対応していきたい。